

比布の国道40号 アイスバーン

陸自トラック、路外転落で9人けが

(2015/12/07 18:53)

【比布】7日午後5時15分ごろ、上川管内比布町基線3号の国道40号で、陸上自衛隊の大型トラックが対向車線を越えて路外に転落した。乗車していた同隊の21～50歳の男性隊員9人のうち4人が肋骨や背骨の骨折などの重傷。運転していた隊員ら5人が手や足に軽傷を負った。同師団によると、事故当時、路面はアイスバーン状態だった。

◆スリップ事故 注意 /◆

峠・橋の上・日陰・トンネルの出入り口
交差点手前、滑って交差点内で衝突！注意

車間距離を十分に！ 滑って、追突を未然に防止

2時間ごとに、15分休憩！

スピード落として、しっかり安全確認！

“1人で作業” 荷台からの“転落”、“はさまれ”注意

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

夕方、夜間、早朝 要注意！ 歩行者が見えにくい 道路が滑りやすい

◆こちらが、どんなに気を付けて運転しても・・・相手の車が・・・◆
◆「だ・か・ら、相手に気づいてもらうように ⇒ デイ・ライト」◆

「100日間 冬期交通事故ゼロ運動」

平成27年11月20日(金)～平成28年2月28日(日)

酔いが覚めたかと思った

酒気帯び運転の疑い 交差点、「一時停止」 衝突事故の男逮捕

2015年12月7日(月)23時2分

西入間署は6日、道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで、無職の男性(79)を現行犯逮捕した。逮捕容疑は同日午前10時35分ごろ、埼玉県の町道で、酒気を帯びた状態で軽乗用車を運転した疑い。同署によると、交差点を直進する際、右側から来た男性(41)の家族計5人が乗った乗用車と衝突する事故を起こした。けが人はいなかった。男の呼気1リットル当たり0.2ミリグラムのアルコールを検出。男性は「酔いは覚めたと思った」と供述しているという。男性の側に一時停止の規制があった。

飲酒運転 全国一斉取り締まり 北海道内で5人摘発

2015/12/05 14:00

飲酒の機会が増える忘年会シーズンを迎え、道警は4日夜から5日早朝にかけて、全道の繁華街や幹線道路周辺で飲酒運転の一斉取り締まりを行い、5人を酒気帯び運転で摘発した。

取り締まりは全国一斉で行われ、道内では警察官698人が107カ所で実施した。酒気帯び運転の摘発数は、前年同時期の一斉取り締まりと同じで、うち1人を逮捕した。速度超過やシートベルト装着義務違反などを含めた摘発の総数は89件だった。

札幌市厚別区の市道では、札幌厚別署員ら約20人が4日午後9時半から検問を実施。車を1台ずつ停車させ、運転手の飲酒の有無を調べていた。

ややカーブ 大型トラックに追突…3tトラックの運転手死亡

2015年12月7日(月)22時39分

7日正午ごろ、埼玉県の首都高速で、運転手の男性(32)の3トントラックが、渋滞で止まっていた運転手男性(48)の大型トラックに追突、3トントラックの運転手は胸などを強く打つなどし搬送先の病院で死亡が確認された。大型トラックの運転手も腰を打つが、高速隊によると、現場手前がややカーブしていたという。

午後8時 「直前まで気づかなかった」

信号のない交差点 横断歩道で車にはねられ死亡

2015年12月7日(月)11時20分

6日午後8時分頃、埼玉県の信号のない交差点で、横断歩道を渡っていた、防衛医科大学校の名誉教授(80)が乗用車にはねられ、頭を強く打つなどして搬送先の病院で死亡が確認された。警察は、乗用車を運転していた、会社員の男性(40)を自動車運転死傷行為処罰法違反(過失運転致傷)容疑で現行犯逮捕し、過失運転致死容疑で調べている。男性は調べに対し、「直前まで気づかなかった」などと供述している。